

■ 極地を目指した探検家

# 白瀬 直

しらせ のぶ

出身地 にかほ市（旧金浦町）

1861年（文久元年）～1946年（昭和21年）

南極探検を志して自ら隊長となり、小機帆船で出帆。南緯80度05分に足跡を印し、その一帯を大和雪原と名付けた。探検後は残された膨大な借金の返済のため家財を手放し、記録映画を携えて国内外を講演行脚した。



## 年譜

- 1861年 にかほ市（旧金浦町）に生まれる。幼名・知教。
- 1881年 陸軍教導団を卒業し、仙台鎮台に赴任。
- 1893年 北極探検に備え、郡司大尉の千島探検に加わる。
- 1895年 北海道庁派遣の八雲丸に占守島より救出される。
- 1909年 米国隊の北極点踏破を知り、目標を南極に変更。
- 1910年 開南丸で南極を目指し東京品川より出帆。
- 1911年 氷海に前進を阻まれ、シドニーに退避し再挑戦。
- 1912年 南緯80度5分に至り、一帯を大和雪原と命名。
- 1940年 文化に功労のあった者として文部省より表彰。
- 1946年 愛知県で没。85歳。